

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	とらんぴーに（児童発達支援）		
○保護者評価実施期間	2025/2/16 ～ 2026/3/15		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24	(回答者数) 24
○従業者評価実施期間	2025/2/16 ～ 2026/3/15		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026/5/31		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	集団参加が苦手は児童に対して、児童の特性にあった個別療育を提供できる。	児童の「やりたい！」気持ちを第一に対応を行っている。	児童の「やりたい」を実現できるように、研修や備品整備を行う。
2	専門性の高い支援を提供できる。	「楽しい」だけの提供でなく、発達を促す「意味」のある提供を心掛けている。	経験豊富な幅広い職種での体制を構築する。
3	保護者が事業所に送り迎えされた際に、日ごろの様子の確認や療育の状況に関する情報交換が行える。	フィードバックと日ごろの様子をお伺いしている。	保護者の困り感を軽減できるように、職員間の情報共有と研鑽に取り組む。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	集団的な活動が提供できにくい	集団が苦手な対象児童が利用しているため、利用ニーズと合わない面がある。	地域の集団で過ごす施設と連携をとり、役割分担を図る。
2	送迎サービスを提供していない	個別対応をしながら送迎を行う人員の確保が難しい。	送迎専従の非常勤配置を検討する。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 とらんびーに（児童発達支援）

公表日 2026/5/31

利用児童数 24

回収数 24

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	運動のお部屋がとても広く、思いっきり体を動かせていると感じています。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	100%	0%	0%	0%	職員の方の数は適切だと思いますが、お名前とそれぞれの職員の方の役割やお持ちの資格等が分からないので、分かるようにしていただくと相談しやすいかと思います	事業所に掲示している職員紹介を、わかりやすい表記にしたいと思います。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	どの先生がどの専門資格を持っているのかが分ると、こちらも質問やアドバイスを求めやすくなるので、より円滑に相談できるかと思います	事業所に掲示している職員紹介を、わかりやすい表記にしたいと思います。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	96%	0%	0%	4%		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	96%	0%	0%	4%	対象の子の好きな遊びに課題を絡めて作成していただけているので、本当に楽しそうに活動しています。	個別支援計画書の説明を行う際に、分析等の内容も説明を行います。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	96%	0%	0%	4%		ガイドラインに則して支援内容を検討しております。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	92%	8%	0%	0%		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	58%	8%	17%	17%		集団参加を苦手とする児童が多く利用しているため、個別療育を通して園生活が円滑に過ごせるように支援します。
保護者 への 説	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	96%	0%	0%	4%		見学や利用手続きを行う際に、説明いたします。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	92%	4%	0%	4%		個別支援計画書を提示して説明するよう努めます。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	63%	17%	0%	21%		個別療育形態のため、個別に保護者対応をさせていただいております。ペアトレを実施している市民団体の活動に参画しており、そちらとも協力しながら提供していきたいと思います。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	92%	8%	0%	0%	新しくできるようになったことや、最近のブーム、絵カードの使い方や本人の使っているときの様子を細かく教えていただけるので、家でも同じように使えるよう、準備等ができます。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	83%	17%	0%	0%		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	96%	4%	0%	0%		

明 等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	33%	17%	8%	42%	保護者同士の交流をしたくないです。兄弟同士の交流をわざわざ外で設ける必要はないと思っているので、現状に満足しています。	ご要望に応じて企画して参ります。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	83%	4%	0%	13%		対面、電話、LINE等で適宜対応させていただいております。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	92%	4%	0%	4%		対面、電話、LINE等で適宜対応させていただいております。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	75%	17%	0%	8%		Instagramで定期的に発信するように努めております。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	96%	4%	0%	0%		
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	63%	13%	0%	25%		見学や利用手続きを行う際に、説明いたします。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	63%	8%	0%	29%		定期的に行い、事業所内やInstagramに実施内容を掲載しております。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	71%	13%	0%	17%		作成して事業所内で共有し、1年に1回見直し確認をしております。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	75%	13%	0%	13%	該当の事案がないのでわかりません。	事故が発生した場合の対応について、事業所内で共有しております。
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	100%	0%	0%	0%		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	100%	0%	0%	0%		
	29	事業所の支援に満足していますか。	96%	4%	0%	0%		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		とらんびーに（児童発達支援）				
公表日 2026/5/31						
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100%	0%		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	71%	29%		事業所内で共有して、回善に努めます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	57%	43%		必要性に応じて、第三者評価を受ける手続きを行います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%		
適切な支援の	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	計画書を作成する前には、必ず保護者の方にアセスメントシートを記入して頂き、その内容をもとに聞き取りを実施。療育の様子と合わせながら、次の目標設定を行っている。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	1人の児童に対して、自発官だけでなく、直接支援に関わっている職員の意見を多く取り入れ、何度も話し合いを繰り返しながら支援の方向性を定め、計画書を作成している。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	新しく見直された計画書は、毎日行われている会議の中で共有し、またいつでも確認しやすいようファイリングされている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%		

提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	86%	14%	事業所自体は個別療育に特化しているため、集団での児童の様子を把握することは難しいが、保育所等訪問との併用や、必要に応じて、他事業所(集団療育)と情報共有を行ったり、保護者から集団での様子を聞き取り、個別の姿に囚われないよう支援内容に活かしている。	集団療育に関しては、引き続き地域の療育事業所を連携を取りながら、個別療育の提供を行います。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	86%	14%		必要性に応じて対応を行います。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	86%	14%		必要性や要望があった際に対応しております。
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外務研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	86%	14%		担当者会議や研修を通して連携しております。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	43%	57%	宗像市の児童発達支援センターが主催している交流会や勉強会に積極的に参加している。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%		
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%	0%		
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%		

保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	57%	43%	保護者支援を中心に活動している市民活動団体の研修会や茶話会に、支援者として協力させていただいている。	個別療育形態のため、個別に保護者対応をさせていただいております。ペアトレを実施している市民団体の活動に参画しており、そちらとも協力しながら提供していきたく思います。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	43%	57%		必要性に応じて対応を行います。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%		
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	71%	29%		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%	0%		

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	とらんぴーに（放課後等デイサービス）			
○保護者評価実施期間	2025/9/1 ～ 2026/6/31			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	35	(回答者数)	17
○従業者評価実施期間	2025/9/1 ～ 2026/6/31			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2026/4/30			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	集団参加が苦手は児童に対して、児童の特性にあった個別療育を提供できる。	児童の「やりたい！」気持ちを第一に対応を行っている。	児童の「やりたい」を実現できるように、研修や備品整備を行う。
2	専門性の高い支援を提供できる。	「楽しい」だけの提供でなく、発達を促す「意味」のある提供を心掛けている。	経験豊富な幅広い職種での体制を構築する。
3	保護者が事業所に送り迎えされた際に、日ごろの様子の確認や療育の状況に関する情報交換が行える。	フィードバックと日ごろの様子をお伺いしている。	保護者の困り感を軽減できるように、職員間の情報共有と研鑽に取り組む。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	集団的な活動が提供できにくい	集団が苦手な対象児童が利用しているため、利用ニーズと合わない面がある。	地域の集団で過ごす施設と連携をとり、役割分担を図る。
2	送迎サービスを提供していない	個別対応をしながら送迎を行う人員の確保が難しい。	送迎専従の非常勤配置を検討する。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 とらんびーに（放課後等デイサービス）

公表日 2026/4/30

利用児童数 35

回収数 17

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	94%	0%	0%	6%		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	94%	0%	0%	6%		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	94%	0%	0%	6%		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	待合室にゴミ箱があるとよいなと思って ます。	早急に整備します。
適 切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	29%	12%	29%	29%		
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100%	0%	0%	0%		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	100%	0%	0%	0%		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	77%	6%	0%	18%		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	100%	0%	0%	0%		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	100%	0%	0%	0%		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	53%	6%	18%	24%		

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	100%	0%	0%	0%		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	100%	0%	0%	0%		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	77%	0%	6%	18%		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	59%	6%	6%	29%		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	65%	6%	0%	29%		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	77%	6%	0%	18%		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	94%	0%	0%	6%		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	94%	0%	0%	6%		
	29	事業所の支援に満足していますか。	100%	0%	0%	0%		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		とらんびーに（放課後等デイサービス）					公表日 2026/4/30	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	100%	0%				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%	0%				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	80%	20%				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	60%	40%				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%				
適切な	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%	0%				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	計画書を作成するときには、必ず直接支援をしている職員を同席させ、繰り返し話し合いを重ねながら作成されている。			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%				

支援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせで放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	個別療育に特化しているため、集団の様子は、保護者からの聞き取りや地域の事業所、相談員さんとの連携が欠かせない。宗像市は、比較的地域の事業所との交流も多く、役割分担で連携を図っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせで支援を行っているか。	100%	0%		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	会議への参加者は自発官に固定せず、直接支援を行っている職員が参加することもある。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	80%	20%	病院受診の際、必要に応じて、利用情報提供書の作成を行ったりしている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	100%	0%		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	80%	20%	まだ卒業者の中から障害福祉サービス事業所への移行をした前例がないが、今後、そのような場合には、情報提供の協力ができるよう準備している。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイスや助言や研修を受ける機会を設けているか。	80%	20%	宗像市の児童発達支援センター主催の勉強会には積極的に参加し、アドバイザーや講師としての依頼があった際は協力している。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0%	100%		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	100%	0%		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%	0%		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%		

保 護 者 へ の 説 明 等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	40%	60%	保護者支援を中心に活動している市民活動団体の開催場所として事業所を解放したり、茶話会や研修会にアドバイザーや講師として参加するなどしている。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	60%	40%		
非 常 時 等 の 対 応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	60%	40%	基本的に食事の対応はしていないが、食育など活動内容の中で必要なときは、必ず保護者に確認をとってから実行するよう努める。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%	0%		

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	とらんびーに（保育所等訪問支援）			
○保護者評価実施期間	2025/9/1 ～ 2026/3/31			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数)	9
○従業者評価実施期間	2025/9/1 ～ 2026/3/31			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○訪問先施設評価実施期間	2025/9/1 ～ 2026/3/31			
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数)	9
○事業者向け自己評価表作成日	2026/4/30			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員1名がほぼ専属状態で対応している	児童、保護者、関係機関と、随時情報共有している	対応する職員を増やすことを検討
2			
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問対応する職員が1名のため、代替え対応が難しい。	人員が不足している。通所事業の運営との兼ね合い。	通所と訪問の人員シェアについて検討する。訪問対応のできる人材育成。
2			
3			

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 とらんびーに（保育所等訪問支援）

公表日 R8.4.30

利用児童数 17

回収数 9

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	56%	0%	0%	44%		
	2	プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	100%	0%	0%	0%		
	3	事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
	4	保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	100%	0%	0%	0%		
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	100%	0%	0%	0%		
	6	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
	8	保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
	9	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	89%	0%	0%	11%		
	10	保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
	11	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100%	0%	0%	0%		
	13	「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	100%	0%	0%	0%		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	67%	11%	0%	22%		
	15	必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていますか。	100%	0%	0%	0%		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	89%	0%	0%	11%	いつもの様に、そして分かりやすく助言していただけて、今、何が必要なのか、又、先の見通しも持て大変ありがたいと思います。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	89%	0%	0%	11%		
	18	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	89%	0%	0%	11%		
	19	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	89%	11%	0%	0%		

	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	89%	11%	0%	0%		
	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	89%	0%	0%	11%		
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	89%	11%	0%	0%		
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	78%	0%	0%	22%		
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	89%	0%	0%	11%		
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	56%	11%	0%	33%		
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	78%	11%	0%	11%		
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	89%	11%	0%	0%		
	28	事業所の支援に満足していますか。	100%	0%	0%	0%	本当に日々の支えになっています。 感謝しております。 親子ともども、成長していきたいです。	

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日 R8.4.30				
とらんびーに（保育所等訪問支援）		利用児童数 9 回収数 9				
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものです。	100%	0%	0%	児童の様子をしっかりと観察されていて実態を共有することができました。 利用し始めの時に、クラス内の環境について改善点を教えていただき、工夫することができました。	
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	100%	0%	0%	保護者へのアプローチをしていただき効果がありました。また、学校と支援員の方が保護者に同じことを伝えることで、より一層効果があったと思います。	
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	100%	0%	0%	児童の様子を元に、お話できました。	
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	86%	14%	0%	専門的な助言をいただき、大変勉強になりました。また、自分自身が日々行っている指導を肯定していただき安心できました。 沢山の成長や変化を感じられています。	
5	事業所からの支援に満足していますか。	100%	0%	0%		
その他のご意見				ご意見を踏まえた対応		
とらんびーにさんでの様子や活動についてお話できることが安心につながっていました。子供の様子を共有しあって、より良い支援につなげられたと感じます。 本校には●●先生がきてくださっています。1年生の様子を観察してくださるだけでなく、教員では対応が難しいときには実際に声をかけて学習へ参加できるようサポートしてくださったり、専門的な知見から具体的なアドバイスをしてくださったり、本当にありがとうございます。4年生のお子さんには本人の気持ちを尊重した距離感でサポートしてくださり、距離のとり方や本人との合意形成のやり取りなどとても参考になりました。子ども・保護者・学校とが円滑に関わり合えるよういつもアドバイスをいただくこともでき、対象のお子さんのより良い成長に向けて保育所等訪問を利用させていただけたおかげで私自身もたくさん勉強することができました。今後ともまたお力添えをいただけると幸いです。本当にありがとうございました 子供たちが訪問支援をととても楽しみにしていました。子供たちへの支援の在り方や保護者の情報をいただけるのは担任にとって有意義なでした。隙間時間の情報共有では時間が不足することが課題と感じています。 ○ 実際に子供との関わり方を見せていただき、子供との関わり方を自分自身、見直すことができました。 ○ 保護者に寄り添い、病院受診のことにも踏み込んだ話をしていただき、とても感謝しています。				このたびは、貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。 日頃より、子どもたちの成長を支えるために、学校の先生方や保護者の皆様にご理解とご協力をいただいておりますこと、心より感謝申し上げます。 今回いただいたご意見からも、子どもの様子を共有し、具体的な関わり方や環境調整について一緒に考えることの大切さを改めて感じました。 今後も、子ども一人ひとりの気持ちや特性に寄り添い、学校・家庭・事業所が連携しながら支援を進めてまいります。 また、情報共有の時間が限られる場合もあるとのご意見を踏まえ、訪問時の時間を有効に活用するとともに、必要に応じて記録や電話連絡なども活用し、継続した情報共有ができるよう工夫してまいります。 これからも、子どもたちの「できた！」や成長の一つひとつを皆さまと一緒に喜びながら、安心して成長できる環境づくりを大切にしていまいります。		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 R8.4.30				
とらんびーに（保育所等訪問支援）						
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
環境・ 体制・ 整備・ 運営	1	訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。	100%	0%		
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	80%	20%		
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、 広く職員が参画しているか。	100%	0%		
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けて おり、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%		
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善 につなげているか。	100%	0%		
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている か。	60%	40%		
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で 研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%		
適切な 支援の 提供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者の ニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を 作成しているか。	100%	0%		
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者 だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こども の最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%		
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と 連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	100%	0%		
	11	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行 われているか。	100%	0%		
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォー マルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルな アセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%		
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保 育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容 が設定されているか。	100%	0%		
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行 われているか。	100%	0%		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の 内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行ってい るか。	100%	0%		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援 の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%		
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重し て支援を行っているか。	100%	0%		
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善 に繋げているか。	100%	0%		

	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%		
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%		
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	80%	20%		
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%		
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	100%	0%		
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	100%	0%		
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%		
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%	0%		
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%		
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	100%	0%		
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%		
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	100%	0%		
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	毎月1回、必要に応じて2回、30分～1時間程度の面談を実施している。	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	40%	60%		
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	訪問日以外の日に学校や家庭で起きたことも、電話やメールを活用し、すぐに情報を共有できるようにしている。また、いただいた情報に対し、次の訪問日に対策が打てるよう準備したり、場合によっては、その日のうちに学校や保護者に対応策を助言、サポートしている。	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%		
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%		
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%		
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	100%	0%		

訪問先施設への説明等	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	100%	0%		
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	100%	0%		
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%		
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	100%	0%		
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%		
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%		
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%		
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%		
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%	0%		